

---

ードタバタ耐戦&WORKING！！?? ~ Let ' s Xmas party ! ? ~

時流 明日無

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

仮面ライダーダバタ耐戦&WORKING!!??

Let's Xmas party!??

### 【Nコード】

N7145Z

### 【作者名】

時流 明日無

### 【あらすじ】

メリークリスマス！皆さんの2011はどうだったでしょうか？辛い事も沢山あった2011…でもそんな時だからこそ笑いが必要ですよ！という訳で、ダバタ耐戦とWORKING!!??が聖なる夜にコラボでもう混沌しか思いつかない不憫とギャグをプレゼント！！Let's Xmas party!??

士「日頃の疲れを常識ムツブスギャグでドタバタ笑い飛ばすド耐と…」

相馬「有り得そうで有り得ない、不憫による不憫のためのギャグを提供するWORKING!?!?!?!?が…」

明日無「聖夜祭の夜、夢のコラボ!!」

映司「平成ライダー・イマジネーションズ&ディケイド・W・O O Oと」

河野「ワグナリアオールスタッフで…」

全「Let's Xmas party!!」  
パンパーン クラッカー音

シャンシャンシャン  
シャンシャンシャン  
シャンシャンシャンシャン…

カズマ「うえーい!!」

リョウタロウ「いえーい!!」

山田「山田も負けませんよ!!」

小鳥遊「何をだ山田!!」

大智「…と言うか今更ながら人多く無いか?うちの食堂が狭く見える…」

海斗「まあ、仮面ライダー部はパーティーかなんかで大変だそうだから帰っただけだね…」

東田「他にもいたんですか!?!」

宮越「料理うめー」 チキン食ってる

伊波「お、男の人がいっぱいいる…」

八千代「落ち着いて、伊波ちゃん！」

夏海「男の人がいたらダメなんですか？」

種島「伊波ちゃんは男性恐怖症なの」

小夜「大丈夫。こっちには比奈さんがいるからいざとなったら…」

比奈「そう言う言い方やめて欲しいな…」 腕・力・怪・力

明日無「えー、コホン、読者の皆様、本日はこのパーティーにご参加いただき、誠に有難うございます。今回、司会を務めさせていただきますのは、尾上タクミくんです」

大シン東小鳥士「お前じゃ無いのかよ!?!?!」

タクミ「…な、何故か司会になつた尾上です…」

ソウジ「なんか頼りないな…」

シヨウイチ「代理誰か行くか？」

シンジ「と言うかなんでタクミ何だろう?」

タクミ「さて今回のパーティーはただ飲み食いするだけではございません。折角集まったのだから親睦を深めましょうと言うわけで様々なコーナーを用意しております!」

明日無「え!?!?聴いて無いよ!?!」 今日の役目終え eating  
プリンなう

Workスタッフ「作者聞いてないなんてそんなのアリ(ですか)!?!?!」

ライダーズ「ウソダウソダドンドコドーン!?!?!」

タクミ「発案者は小鳥遊姉妹の皆さんと東田くんのご家族の皆さんとツバサとフォーゼの仮面ライダー部の皆さんだそうです」

シヨウイチ「ちょっと待てツバサ以外ここにいないだろうがああ

ああッ!?!」

小鳥遊「と言うか姉さん達何やってんだッ!?!」

東田「これは…もう混沌としか…」 顔面蒼白

大智「……ッ・バ・サ?」 目が笑ってない

ツバサ「ふふふのふー」

タクミ『時間も押ししている様なので早速最初のコーナーに参りましよう』

アスム「初期の頃よりタクミさんのスルー精神が活発化している件について」

ワタル「ツツコんでもスルーされますよ」

タクミ『それでは行きましょう、まずはWORKING!!のイベントより…リアル・ワーキング!!』

犬全「……アレかアアアアア!!」

他全「……どれ!?!なんか怖いんですけど!!」

タクミ『ルールを説明します。この中から誰か代表者一名と客五名の方に前に出て来ていただきます。そしてその代表者の方がファミレスか中華か寿司屋かメイド喫茶か…の内どれか一つ選んで頂いて注文を取って頂きます。ま、その後は記憶力ゲームの様なモノです。「御注文を繰り返します」と宣言した後、オーダーを返していただいて見事総て合いましたらご褒美を差し上げます!』

シヨウイチ「ライ選択肢に一つヲタク系があるぞ」

タクミ『シヨウイチさんアレですか、はいわかりました、ではシヨウイチさんのメイド「ちよい待てええええええええええい!!」』

アスム(食い気味で言った!!)  
ワグ男全(…と言うか三十路のおっさんのメイドってどうなんだ!?!)(…)

タクミ『では運命の代表者発表です!ダララララララ…』

全「……言つのかい！？それくらい音響入れるよ！！」「」  
ダイキ「ん？」 照明、音響担当

タクミ『ダン！芦川さん光（夏海）さん、宮越さんの3人です！』

シヨウイチ「俺を呼ぶなあああああああ！！」

ソウジ「どうどう」

夏海「土くん！土くんとのチェンジを要求します！！」

土「No, you can't!!」

宮越「きおくりよくげーむって何すればいいんだ、東田？」

東田「とりあえず相手の言った言葉を復唱すればいいんです」

宮越「ふくしょー？」

小鳥遊（不安しかありませんが…）

タクミ『ちなみに犬組の方々は中の人がやったので代表免除です』

犬全「……中の人言うなあッ！！」「」

タクミ『それでは一番手は宮越華さん！客役の方は東田くん、小鳥遊くん、山田さん、相馬さん、ワタルくんです』

東田「何ですかこの犬組率」

山田「相馬さー！ーん！！」 バック花園

小鳥遊「山田暴れるな！」

タクミ『尚、選ばれた方々の演技力もついでに試されますんでコレがしっかり務まらない方はそっちの世界は厳しいですよ』

全「……はい」「」 適当返し

タクミ『では宮越さん、何のお店の店員になって頂くか選んで下さい』

宮越「東田、どれが一番カンタンだ？」

東田「そうですね、なら慣れてるファミレスでもしてはどうですか？」

宮越「なら中華」理由、自分の名前があつた  
東田「なんで俺に聞いてみたんですか、宮越さん」  
タクミ「本来ならここで衣装に着替えていただきたいのですが、ちよつと手配と時間の都合上省きます…それでは宮越さんの挑戦です、どうぞ！」

宮越「いらつしやいませー」営業モードスタート

東田「あ、すみません、店員さん」

宮越「ハイ、どうぞされましたあ？」営業スマイル全開

小鳥遊「今までとは全然対応が違うー！」

東田「突つ込むところじゃ無いです。じゃ、俺から注文しまーす。えつと…青椒肉絲と…」

宮越「え…あお？にくいといと？」

東田「地の文読むなよ！？青椒肉絲です、チンジャオオロスー！」

宮越「あ、はい、チンジャオオロス…チンジャオオロス…チンジャオオロス…」

東田「それと炒飯と杏仁豆腐で」

宮越「いためめしと？？とつふ…」

東田（あ、もうダメだな）

山田「注文いいですか！？」

宮越「あ、はい」頭から湯気

山田「ではー、相馬さん何がいいと思います！？」

相馬「…ホントに出てくるんじゃないんだよ？」

山田「そうなんですか！？」

タクミ「一応ルール上出てこないんでお腹が空いてるならその料理食べていただければ」

ソウジ「なんなら作るが？」ケーキ作り中

山田「わーい！じゃあ…納豆とご飯ー！」

小鳥遊「それメニューに乗ってないだろー！」

山田「むー、なら相馬さん何がいいと思います？」

相馬「俺…一応もう決めてるんだけど…」

山田「なんですか？」

相馬「ユーリンチーとー、ホイコーローとー、バンバンジー…！」  
佐藤「相馬お前それ中の人を作ったネタだろうが…！」

相馬「痛い！痛いよ佐藤くん！？フライパンで殴るのやめて…！」

山田「なら山田、相馬さんと同じで、お願いします」

宮越「…」 プシュー

小鳥遊「あ、あのおう…」

宮越「ハ、ハイ。ナンデシヨウカ？」

小鳥遊「注文…大丈夫ですか？」

宮越「ハイ、ダイジヨウブデス」

小鳥遊「大丈夫じゃ無いですよね…！」

東田「早く言っただけで下さい」

小鳥遊「では…酢豚と炒飯と杏仁豆腐で」

宮越「さつき出たヤツだ！」

ワタル「注文します、北京ダック」

宮越「北京ダック…北京ダック」

ワタル「麻婆豆腐」

宮越「マバア豆腐？」

東田「なんで地の文を読むんだ…！」

ワタル「杏仁豆腐」

宮越「豆腐ダブルか…！」

ワタル「以上で」

宮越「えーっと…おう？えあ？にうえら？」

ガツガツガツガツピキーン

全「…」

ピピーガガガキューーン

宮越「…」 音の発生源

東田（頭が処理に追いついていない…）

士（と言うか宮越ってヤツ改造人間か？）



タクミ『時間が押してるんで早く御注文繰り返して下さい』  
シヨウイチ「ちょっと待ってやれよ!？」

宮越「御注文繰り返します…」

全「「「はい」」」

宮越「なんかババア豆腐が一つ」

東田「麻婆豆腐です」

宮越「…」

全「「「……………」」」

宮越「……………」

全「「「……………」それだけ?」」」

宮越「わからねえよおお!!ヒガシダー!!」

東田タックルに抱きつく

東田「グフツ!!」 死亡?

全「「「怖ええええええええ!!」」」

タクミ『ハイ、時間無いんで次。夏海さんどうぞ』

犬猫全「「「お前目ついてるのかああああ!!?」」」

仮面全「「「ウソダウドンドコウエイ!!」」」

タクミ『ワア、それは新しい言い方ですね(棒)はい、夏海さん出て来て下さい。客は土さん、ユウスケさん、轟さん、佐藤さん、足立さんで』

全「「「お前ホントに人間か!?!?」」」

タクミ『何のお店やりますか?』

夏海「どうしましょう?」

土「いや、青果店だろ、ナツミカンなんだし」

夏海「…笑いのツボ!」

グキグキッ!!

土「ははははははははッ!」

夏海「たくつ…じゃあファミレスでお願いします」

タクミ『Final Answer?』

夏海「え…?」

タクミ『Final Answer?』

夏海「あ、ハイ…」

タクミ『それではどうぞ』

小鳥遊「いや、さっきのくだりなんですか!？」

夏海「いらつしやいませー」

士「はははははっ!」 後遺症

ユウスケ「はい、いらつしやいましたー」

八千代「うふふふ、面白そうね、さとーくん」 微笑み殺し

佐藤「…ソウデスネ」 不憫

足立「なんでだろう、俺の代わりに東田くんが入った方がいい気がする…」

夏海「えっと、123…五名でいらつしやいますね?」

足立「あー、雰囲気であるねー」

相馬「仲良し5人組です。嘘です」

佐藤（何故相馬が言う!?!）

タクミ『多分イベントでの的な意味ですよ、佐藤さん』

佐藤「!?!」

足立「じゃあ俺から注文しますね…とりあえず五人だしピザしよっか…シーフードとミックスどっちがいい?」

佐藤「どっちでもいい」

八千代「私も」

足立「じゃあシーフードとミックス一枚ずつと…コーンスープ」

八千代「あ、コーンスープ欲しい!」

佐藤「なら俺も」

士「じゃ俺も」 やっと収まった

足立「あ、ならいいや」

佐藤「じゃいいや」

ユウスケ「俺欲しい」

士「ならいいや」

足立「やっぱりコーンスープ!」

夏海「え?え!?結局コーンスープは何人ですか?」

足立「3つで」

夏海「あ、はい、分かりました」

タクミ『しょうもないんでさっさとやっちゃってください』

翔太郎「ならやるなよこの企画!」

足立「俺は以上で」

佐藤「なら俺は…定番で行くか…チーズハンバーグとドリンクバーで」

士「寧ろドリンクバー全員でいいんじゃないか?」

ユウスケ「そうだな」

夏海「ではチーズハンバーグとドリンクバー五つで…はい」

八千代「どーしましょ…あんまりファミレスに客として行ったことが…さとーくん!」

佐藤「…じゃあ接客の時にお客さんが食べてたモノでも注文したらいいんじゃないか?」

八千代「あ…なるほど…じゃあ…明太子スパゲッティと…イチゴパフェをお願いします」

夏海「はい、はい、かしこまりました」

杏子(…八千代のパフェ食べたいな…) チキンを食べながら

士「俺の番か…よし、じゃあ一番高いミックスグリルと唐揚げとカキ氷だ!」

夏海「どれだけ食べるんですか土くん!笑いのツボ!」

グキグキツ!!

士「あはははは!…おい!…ははは!客に対してそれは…ハハハツ!!」

宮越「おー、東田ー!笑いのツボやりたい!」

東田「ははははは、宮越さん、そんなものなくても十分つよ」 体が吹っ飛ぶ

宮越「なんかいったか?」 殴った

ユウスケ「おれはカレーで！」  
夏海「はい、分かりました！」

ソウジ「じゃ…俺はチーズケーキとショートケーキ」  
全「…なんであんた平然とそこにいるんだ!?!?!」  
ソウジ「ダメなのか？」

タクミ「許可」  
全「…ヲイ!?!?!」

夏海は結局チーズハンバーグを言い忘れてアウトになりました。

シヨウイチさんの挑戦は彼の名誉と時間と作者の体力のため行いました。が省略します。

シヨウイチ「…もういやだ…orz」  
ソウジ「ドンマイ、シヨウイチ。ケーキ食べるか？」

――

タクミ「続いて行きましょう、今度はうるんなページより爆弾を頂いてきたので！」

全「…爆弾!?!?!」

猫全「…あの人があああああ!?!?!」  
タクミ「ドキドキ! 剣刺しゲーム!?! ルールは、爆弾に剣を刺して  
いって爆発した人が負け!?!」

全「…危なすぎるだろおおおおお!?!?!」  
大智「研究所で出来るかあああああ!?!」

みんなからの猛反論で結局王様ゲームになりました。  
シンジ「なんで!?!」

翔太郎「シンジも地の文読み始めたな…」

タクミ『では皆さんサツサと引いちゃって下さい』  
明日無「今更だけこのタクミどこのタクミ!？」  
アスム「それ確実に遅いですよね!？」  
東田「え!？いつものタクミさんと違うんですか!？」  
タクミ『サツサと引いて下さい、爆弾投げますよ』  
全「ヒデエエエエ!？」

明日無「ところで王様ゲームって何？」 王様引いた  
士「しまった!作者の世相知らずを忘れてた!！」  
海東「しかも何気に王様引いてるしね!」

タクミ『とりあえず 番××しろ的なノリで言っして下さい』  
小鳥遊「なんで貴方ゲーム参加してないんですか!？」  
明日無「じゃあね…十番は海東を褒めてあげて」

タクミ『あ、それは無しで』  
海東「ヒドイねファイズくん!？」

明日無「えー、じゃあ五番と十五番は異世界病のシンジを慰めてあげて」

タクミ『だーかーらー、個人名出さないで下さい。あとシンジさんを慰めるにはどごそのプティラとどごそのグロージングとどごそのアマゾンを呼んで下さい』

映司「ぷーちゃん!？」  
タクミ『あとそのこのヤンデレを締めて下さい』

犬猫全（（何なのこの会話…））

明日無「じゃあ二番の方シヨウイチさんを慰めてあげて」  
タクミ『…特別に許可します』  
海東「アギトくんだけずるい!！」  
シヨウイチ「…」

東田「ところで二番って誰ですか？」 このやりとり飽きてきた

ソウジ「俺 ショウ」

シヨウイチ「断る!!」

ソウジ「…」 拗ねてケーキ作り開始

タクミ『はい、次引いちゃって下さ〜い』

仮面全「…」お前本当にタクミか!？」

海斗「どこぞの龍騎じゃ無いよね!？」

タクミ『サツサと引け』 黒尾上激情体

全「…」すみませんでした!!」

相馬「ラッキー」 王様

犬全「…」うわああああああ!!!?!？」

明日無「ぎゃああああああ!!!?!？」

他全「…」何があつた!？」

犬全明日無「…」一番やばい人が引いちゃったよ!？」

相馬「じゃあ、十番と…七番の人の秘密ばらします」 黒相馬

全「…」どんな王様だアアアアアアツ!？」

七番は天堂ソウジさん、十番は宮越華さんです。

相馬「じゃ、宮越さんが何故ヴァオレンスッキングなのか…実は小さい頃に料理しようとして鍋をひっくり返して頭に鍋がゴンとあつちやつて…現在に至る」

宮越「そうだったのか…」

東田「え!?本人忘れてる!？」

足立「佐藤、あの人何なんだ?」

佐藤「知らん」

相馬「で、天堂さんなんだけど…」

仮面全「…」ゴクリ

ソウジ「…」引くだけ引いてケーキ作っている

相馬「ごめん、分からない」

犬全「……嘘だアアア!?」「」

相馬「いや、ホントに……他の人なら分かるんだけど天堂さんだけ写真すらない……」

犬猫全「……嘘だろおおおおおおお!?」「」

仮面全「……逆に何故俺たちの秘密を!?」「」

タクミ『王様ゲームでテンションが最高潮に達しそうなんで続いで  
のコーナー参りましょう!』

ユウスケ「……もう何も怖くない!!……orz」

シヨウイチ「ああ……!!……orz」

東田「さあ、来い!!……orz」

全「……来い!!……orz」「」

大智「……って、みんな言ってる事とやってる事がちがああああう!  
!」

タクミ『最後は仮面ライダーから……仮面ライダーといえば決めゼリ  
フ……と言つか名乗り!それを皆さんオリジナルで考えて貰います』

全「……へ?名乗り……?」「」

タクミ『はい』

仮面全「……良心キター……!!」「」

犬猫全「……名乗りって何!?」「」

タクミ『手本として土さんお願いしまーす』

土「大体わかった」

ユウスケ「……そこは全部分かるうよ!?!」

土「見ておけ、俺の名乗りを……!」

タクミ『カツコつけないで早くして下さい』

士「通りすがりの仮面ライダーだ…覚えておけッ!!」

犬猫全「…???'」

タクミ『そりゃピンときませんよね』

士「ならなんで俺にやらした…!!」 床ドンドン

タクミ『と言うわけで五分間シンキングタイム！五分後強制的に  
してもらいまーす』

全「…ええええええ!!?」

そして五分後

タクミ『では…Wのお二人からどうぞ!』

翔太郎「俺たちは!」

フィリップ「僕たちは!」

翔ファイ「二人で一人の仮面ライダー、仮面ライダーWだ!!」

映司「例え誰でも手を伸ばす、それが…俺の…オーズの“力”!!

仮面ライダーオーズ!!」

小鳥遊「え!?ちよつ、待って下さいよ!?!ええつと…じゃあ、

ちつちやい先輩可愛い!!!小さいは正義ですよ!小鳥遊宗太!!」

種島「ちつちやく無いよ!!おつきくなるよ!!種島ぽぶら!!」

伊波「あ、あの、半人前ですけど、頑張ります!伊波まひる…」

八千代「杏子さん!私がお側に!!轟八千代!!」

杏子「…ぐーー（腹の音）」

佐藤「…フー（煙草吐く）」

相馬「え?君の事?もちろん知ってるよ。だって俺、相馬博臣だも  
ん」

山田「皆さん!皆さん大好きな山田ですよ!!山田葵です!!」

東田「あ、どうも始めまして、東田と申します。私は（以下省略）」



宮越「名乗りつてなんだ？東田？」

足立「あつあのつそのつあのつ（以下省略）」

村主「…」 ある一点を見てる

河野「八夕チ同盟同盟主、河野！！みんな！八夕チ同盟よろしくね！」

近藤「…」 フー（タバコなう）

斎木「???」 そもそも日本語分からない

ユータ「…」 何故か泣き中

志保「ユータくん」 そもそもこの企画に参加する気無し

ユウスケ「俺は笑顔を護る戦士、仮面ライダークウガ！」

シヨウイチ「……」 お茶啜ってる

シンジ「ちよつシヨウイチさん！？あ、俺の番！？人の絆を信じる炎の龍！仮面ラ」 タイムアップ

タクミ「人に知られず人を愛し人に知られず人を護る戦士：仮面ライダー555！」

カズマ「うえい！0から立ち上がる勇気の戦士、仮面ライダーブレイド！」

アスム「悲しみを乗り越え皆の明日を護る戦士、仮面ライダー響鬼！」

ソウジ「ただ一人でいようとも絆は繋がり続ける…だから俺は戦う…繋がりを守るために…仮面ライダーカブト」

リョウタロウ「弱くても力合わせて！」

イマジンス「…」皆で戦う時間の守護者！」「」

リョウイマス「…」仮面ライダー電王！」「」

ワタル「例え形が違ってても絆を信じ守る王…キングオブバンパイア、仮面ライダーキバ！」

大智「BEST…つまり1番…俺は…1番となる者、仮面ライダーBEST！」

士「そして…通りすがりの仮め

撮影していたビデオのテープに限界がきました。

シン士「……orz」

大智「無理矢理って…ダメだな」

東田「すみません、多分俺が1番時間食いました…」

小鳥遊「寧ろする意味が無いと…途中なにもしてなかった人がたくさんいるし…!」

タクミ『はい、楽しかったコーナー「どこが!?」も終わりでした…最後は、ケーキですね!』

ソウジ「ケーキ…作ったが…どうだ?」

シヨウイチ「言うかまたデカイな!?三段あるぞ!?」

ソウジ「うむ」

リヨウタロウ「で、誰と誰が入刀?」

全「…結婚式じゃ無いんだぞ!?!?!」

タクミ『え?そうだったんですか?』

全「…ちよつと待て企画者!?!?!」

相馬「じゃ、佐藤さんと轟さ」頭にフライパン刺さる

山田「相馬さああああああん!?!」

佐藤「…」犯人

夏海(もっもしかしたら…土くんといっ)頭に藁人形刺さる

士「ナツミカアアアアン!?!」

小夜「…」犯人

タクミ『事件が多発しておりますね』

シヨウイチ「呑気に何言ってるんだ!?!」

タクミ『ま、もうソウジさんがケーキを切ったんですが』

ソウジ「あ…つい」

全「「「ちよつとまで、『あ』ってなんだ!?気づいてなかったのか!?!」」」

タクミ『では、ケーキは置いておきまして、最後に全員でこのグダグダドタバタゴチャゴチャ一部キャラの出演率WWダラダラパーティーを最後まで見てくださった皆さんに…』

シヨウイチ「ちよつとまで、色々おかしいぞ!?!」

タクミ『ツッコミが遅いですよ』

シヨウイチ「お前はなんだよ!?!」

大智「とりあえず収集つけるために一回黙ろう!?!」

タクミ『はい、それでは最後にお礼を…いっせーのーで!?!』

全「「「ありがとうございます!」」」

タクミ『今後ともドタバタ耐戦、WORKING!?!?を応援して下さいね!?!』

全「「「さよーならー!」」」

### 収録後…

タクミ「さて…と…」

映司「あれ?タクミくんどうしたの?」

タクミ「…あ、俺今はタクミでしたね!」

映司「え…?」

タクミ?「よつと…」 服と顔を弄る

映司「…え…!?!」

???「ふふふ…先輩、楽しかったですよ。また、何処かで会いましょう。では…」

映司「え！？ちよつと…！」

???「あ、タクミくんは司会台のところで眠ってるんで宜しくお願  
いします！」

映司「ええ！？ちよつ！君は誰ええええ！？……あれ？これは…  
セルメダル？」

メリークリスマス！また何処かで会いましょう！！by???

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7145z/>

---

仮面ライダーダタバタ耐戦&WORKING!!?? ~Let's Xmas party!?

2011年12月24日12時51分発行